

北九州市環境ミュージアム展示改修 ゾーニング案・構成案

※本案に記載の **改修案（参考）** は、あくまで参考

展示改修に向けたゾーニング（環境ミュージアム）

	プロローグ	第1ゾーン	第2ゾーン	第3ゾーン	第4ゾーン	第5ゾーン
テーマ	北九州市の豊かな自然、歴史を紹介 地球や環境問題に関する貴重なメッセージ	北九州市の変遷 「今日種を蒔いたからと言って今日芽は生えぬ」	公害克服の歴史 「青空が欲しい」	地球環境とわたしたち 「地球は祖先からの贈り物ではなく未来からの借り物である」	環境技術とエコライフ 「ごみを減らす気持ちは大切、減らす人を増やす仕組みも大切」	北九州市環境未来都市 「温暖化、大気汚染、資源の偏りあるいは枯渇昨日までの生き方を変える時がきています」
WHY 目的	・北九州市でなぜ地球環境を学ぶのか ・このミュージアムの目的	・歴史は今につながる ・官営八幡製鉄が立地した必然（プロローグからの流れ）	・歴史から学ぶ ・経済発展の功罪に向き合う課題解決のための行動 ・パートナーシップの形成	・グローバルな視点を持つ ・地球環境問題を自らの暮らしに落とし込む	・課題解決の方策 ・社会の仕組み ・環境技術（資源循環）	・自分ごとにする
WHAT (何を) 伝える内容	・北九州市の豊かな自然 ・自然の恵みと産業の関係 ・ネイティブアメリカンの言葉 「地球は祖先からの贈り物ではなく未来からの借り物である」	・官営八幡製鉄所の創業 ・日本の近代産業発祥の地としての歩み	・公害の深刻さ ・劣悪な環境下に耐え、努力した人々の暮らし（主婦、教師、保護者、子ども、労働者） ・婦人会の学習活動、運動 ・企業の努力 ・パートナーシップ	・地球のしくみ、温暖化の現状 ・自分自身と地球環境問題の関係性	・「リサイクル」の仕組み（エコタウンセンター） ・身近なエコ商品やエコ素材 ・資源・エネルギー・廃棄物・環境新技術	・北九州市 環境未来都市 ・アジアに広がるネットワーク ・市民・団体・企業・学校の取り組み ・北九州スマートコミュニティ創造事業
HOW (どのように) 展示内容	・写真 ・解説、年表 ・動画 ・貴重なメッセージ	・写真、地図、解説 ・実物（石炭・鉄鉱石・鉄道レール・石油・コンクリート・プラスチック） ・世界遺産の紹介映像	・写真、実物、記録資料 ・ジオラマ ・映像（当時の婦人会制作ビデオ、語り部インタビュー）	・地球儀 ・体験ゲーム ・参考図書	・ごみ分別回収一覧表 ・リサイクルボックス（実物） ・リサイクル素材や商品 ・体験ゲーム	・写真パネル ・模型（スマコミ）

全体的なイメージ

- プロローグ～第2ゾーンは、北九州市が行動した「**パートナーシップというDNA的なもの**」
- それを引き継ぎ、第3ゾーン以降にストーリー展開
- 基本的に、**実物などの今の展示は活かしつつ、映像技術も活用できるブースを併設**

検討事項

- **展示の流れ**（公害克服・環境国際協力からの流れを活かした展示）
- **デジタル映像の活用**（**サイネージと実物のバランス**、全体ストーリーが分かる動画の必要性）
- **多言語対応**（翻訳機能の活用等）
- **スペースの有効活用**（ドームシアター、情報ライブラリ）

NEW

アップデート

	第3ゾーン	第4ゾーン	第5ゾーン
テーマ	サステナビリティ	環境と経済の両立 (CE)	市民環境力 (すべてを下支えするもの)
WHY 目的	・過去の経験を整理	・課題解決の方策 ・社会の仕組み ・環境技術(資源循環)	・環境問題の原点に立ち返る ・生物多様性とは
WHAT (何を) 伝える内容	・サステナビリティとは何か (環境、社会、経済) ・自分ごととして捉える	・ごみの分別 ・身近なエコ商品やエコ素材 ・エコタウンセンター事業	・自然再興 (NP) の考え方 ・NP経営
HOW (どのように) 展示内容	・地球規模の環境問題の紹介パネル、動画 ⇒第4ゾーン (現在・これからの取組) へ	・施設紹介パネル、動画 ⇒エコタウンセンターへ誘導	・施設紹介パネル、動画 ⇒ネイチャーポジティブセンターへ誘導
		・エネルギー施策を電力会社任せにしない	・環境問題の原点に立ち返る ・生物多様性とは
		・エネルギー地産地消 (東田、太陽光発電、洋上風力、その他)	・環境問題の原点に立ち返る ・生物多様性とは
		・施設紹介パネル、動画 ⇒次世代エネルギーパークへ誘導	・施設紹介パネル、動画 ⇒ネイチャーポジティブセンターへ誘導
			・様々な市民活動 ・ESDの取組 (青空が欲しの運動はまさにESDだった) ・一人一人の行動宣言
			・活動者の声を動画で流す ・来館者が「宣言カード」を記入し展示 (来館者の言葉に学ぶ)

展示改修ゾーニング（環境ミュージアム）

プロローグ



北九州市の豊かな自然、歴史を紹介

第1ゾーン



北九州市の変遷

第2ゾーン



公害克服の歴史

第3ゾーン



地球環境とわたしたち

↓
サステナビリティ

リニューアル
予定

第4ゾーン



環境技術とエコライフ

↓
環境と経済の両立(CE)
人類の生存問題(CN)、原点に立ち返る(NP)

リニューアル
予定

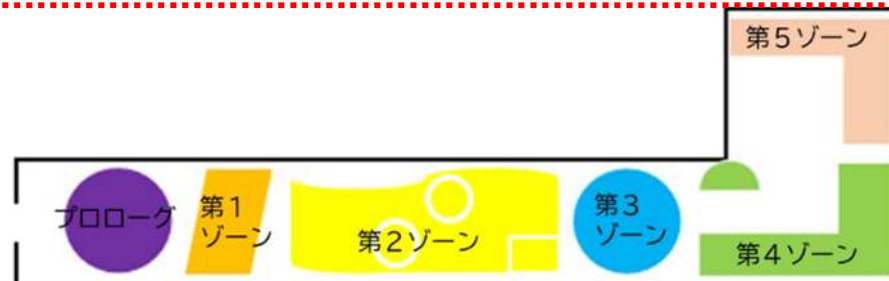
第5ゾーン



北九州市環境未来都市

↓
市民環境力
(すべてを下支えするもの)

リニューアル
予定



【プロローグ ～ 第2ゾーン】

※今回の基本設計の対象外
(全体構成の精査の結果、一部改修を
提案することは妨げない)

プロローグ



北九州市の豊かな自然、歴史を紹介
自然と産業の共生の下に発展

改修案 (参考)

- モニターの立ち上がり時の不具合対策 (機器の更新) が必要
- ◎歓迎看板を設置または、エントランスのスクリーン活用 (ミュージアムの象徴となる画像や動画を導入部に投影する)

多言語対応案

- 現在のYouTube動画を多言語に吹き替えて活用。
(来館者が各自の携帯で解説を見ながら見学できるようにする
⇒ ※携帯の充電サービスについて要検討)
- 展示解説文は、タイトル・概要は多言語に。詳細の解説文は、来館者が
グーグル翻訳等で読みやすいよう、文字サイズ、掲載場所を工夫

第1ゾーン

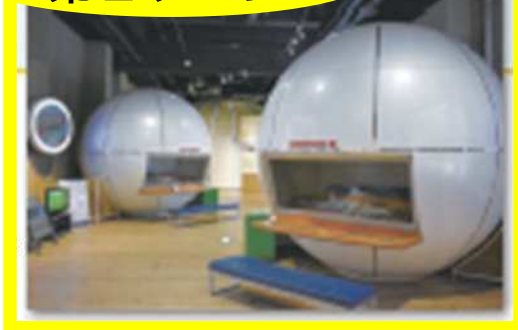


北九州市の産業の発展/利便性向上
ステナビリティに欠けていた時代

改修案 (参考)

- 展示ボードの張替え (手書き修正箇所の反映)
- 展示ボードのクリーニング
- 世界遺産のサイネージ展示を第1ゾーンから移動 (サイネージの有効活用策を要検討)

第2ゾーン



公害克服の歴史
世界のサステナビリティの先駆け

改修案 (参考)

- 洞海湾の海中モニターの撤去
- ジオラマのオーバーホール
- ジオラマの操作性の改善 (一時停止機能、再生し直し機能)
- 公害証言ビデオの更新 (DVDが誤って出てくる)
- 公害証言ビデオの操作性の改善 (一時停止、再生し直しが可能か?)

基本的に現展示
を活かす

【第3ゾーン】サステナビリティとは

サステナビリティ社会は、環境、経済、社会が調和した社会



リニュー
アル

地球環境とわたしたち



目的

第2ゾーンまでの展示解説「公害克服から国際環境協力までの歴史」を受けて、サステナビリティとは何かを考える

伝える内容

北九州市の公害克服の歴史から知る・学ぶ・・・

- ①サステナビリティの3つの側面を考える
 - 1 環境：資源の枯渇や地球温暖化防止等
→地球のキャパシティを学ぶ
 - 2 社会：人権尊重や貧困問題等
→社会問題と環境問題の関わりを学ぶ
 - 3 経済：安定した企業活動や経済成長
→産業の環境化（車、省エネ機器、サービス）を学ぶ
- ②北九州市のサステナビリティを支えたパートナーシップ
市民、企業、行政のパートナーシップを理解する

改修案（参考）

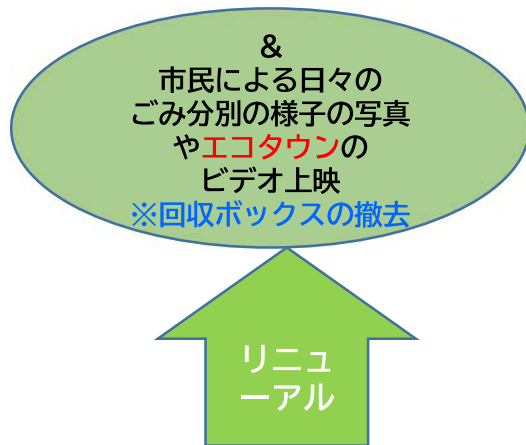
- ①-1 環境 中央に地球儀を配置して説明
(子どもも触れられる位地・形状に)
- ①-2 社会 環境破壊の影響は国境を越える、SDGs
- ①-3 経済 企業の環境配慮行動(省エネ機器、サービス)
⇒子ども向けのカーボンニュートラルのゲームコーナーは
ここに残すか否か要検討
- ②真のパートナーシップとは。
相関図にするなどして具体的に解説 ⇒⇒⇒



【第4ゾーン】 サステナブル社会に向けた現在の北九州市の挑戦

北九州市は世界に先駆けサステナブルシティに挑戦している

- ①CE（ごみ分別・資源循環） ②CN（東田地区の模型活用、次世代エネルギーパーク新設） ③NP（アーバンネイチャー、響灘ビオトープ）



環境技術とエコライフ

目的

世界に先駆けた北九州市の取り組み
サステナブルシティ北九州の現在を発信

伝える内容

- ① サーキュラーエコノミー
- ② エネルギーのサステナビリティに向けた挑戦
- ③ ネイチャーポジティブ
- ④ 街のサステナビリティに向けた挑戦



- ④サステナブルな街
(天秤で、環境・社会・経済の
バランスを体感)

改修案（参考）

- ① 同等の展示（エコタウンセンターの動画も上映）（※「雑紙ていたん」撤去）
- ② 洋上風力等の再生可能エネルギー戦略コーナーの解説展示
（※「自然素材リサイクルコーナー」撤去、再エネに関する各種展示物も撤去）
- ③ NP戦略の解説、生き物の展示（※「エコラベルの解説」撤去）
- ④ 東田地区の実証を例にSDGs未来都市を解説
（「環境、社会、経済」のバランスを体感できる「天秤」などの仕掛け）
※他施設との連携の見える化

【第5ゾーン】 サステナブル社会に向けたこれからの挑戦

サステナブルなまちへの未来像・挑戦

市民環境力（すべてを下支えするもの）



目的

サステナブルシティ北九州市のこらからの「未来」をどう描くのか、来館者に「自分事」として捉え考えてもらう。

伝える内容

世界に輝く、市民参加、産学官民の共創から・・・

- ① 世界に輝く アジアカーボンニュートラルセンター
- ② 市民参加 市民活動、企業活動紹介（登録制）
- ③ 共創 イノベーションにチャレンジしている事例

リニュー
アル

北九州市環境未来都市



改修案（参考）

最新情報に迅速に入れ替え可能なよう、デジタル展示を基本とする
（複数のモニターをつなぎ合わせ、一つの画面としても、分割画面としても
上映できるようにする）

- ① アジアカーボンニュートラルセンターの解説は更新頻度が低いため、非デジタルでもよい
- ② 市民活動等の素材・事例（市が保有する動画やスライドショー）を上映
※エコタウンセンター、次世代エネルギーパーク、ビオトープと
上映素材を共有
- ③ 市が目指す都市の未来像を提起
※モニターは「特別展」開催時に、他の動画も上映できる仕様にする

【図書コーナー】体験・交流スペース

※今回の基本設計の対象外
(全体構成の精査の結果、改修等を
提案することは妨げない)



目的

子どもの体験・学習の場、大人の来館者の情報収集の場

現在の課題

- ① 利用者が少なく、スペースを活かしきれていない
- ② 貸し出し図書が古く、貸し出し実績も極少ない
- ③ 図書スペースがドームシアターへの導線上にあり、ドームへの人の流れを分断させている

改修案（参考）

- ① 市民、特に子どもたちが展示の見学を終えた後に、自然と立ち寄りたくなるスペースにしたい
(※現在の第3ゾーンにあるカーボンニュートラルを学ぶ各種ゲーム等の展示物はここへ移動)
(※環境学習サポーターのエコ工作も、ここへ移動)
- ② 古い図書の処分、貴重な図書（市史、公害史、林えいだいの写真集）の整理、分かりやすい展示
- ③ ドームシアターへの導線を視覚的に確保するため、図書コーナーの受付台は、図書コーナーの真ん中に設置

その他・設備等の改修案

- ・壁面緑化の更新または廃止
- ・木製床の整備（歪み、音も発生する）
- ・エコハウスが古くなり、当初の意義が薄れている

- ・外から見て玄関に気づかれない（入口が分かりにくい）
- ・ウッドデッキが痛み、危険、（滑る）
- ・電話システムが古い（ナンバーディスプレイの表示なし）